

1. 概要

市役所前の広場において、人が滞在するためのテーブル・ベンチや、飲食コンテンツにより、中心市街地の賑わい形成を図ることで、広場や街路に滞在空間を創出することへの有効性を検証するとともに、本格化に向けた課題を明らかにする。

○実施日時

・令和4年9月9日（金）～9月29日（木） 10時半～15時

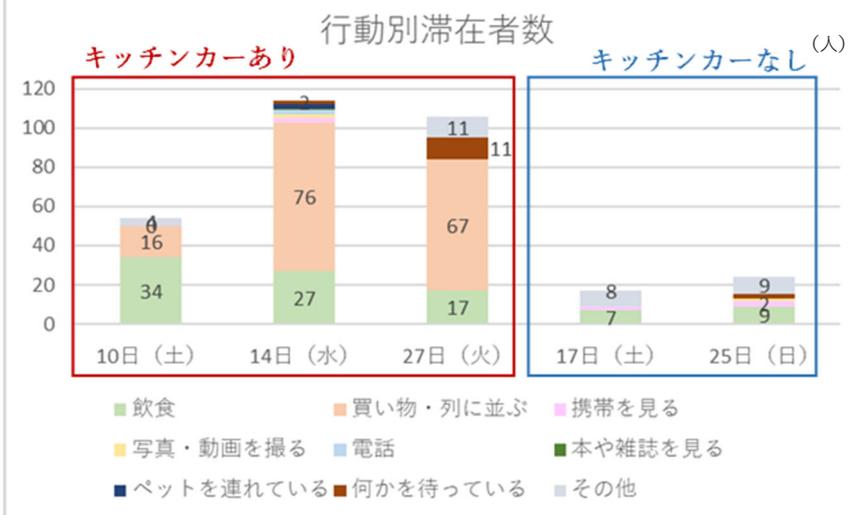


2. 滞在行動調査

滞在行動調査日時

- ・キッチンカーありの日：9月10日（土）、14日（水）、9月27日（火）
- ・キッチンカーなしの日：17日（土）、25日（日）
- ・10時半～15時

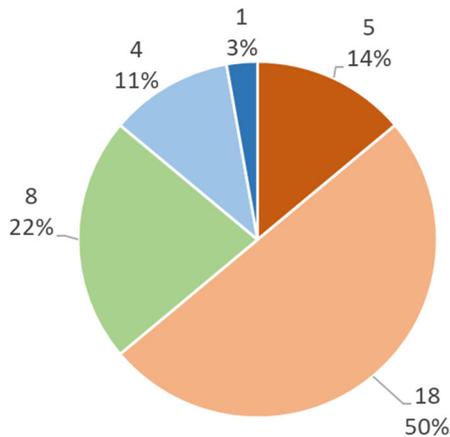
- ・キッチンカーを配置した平日では、100人以上の滞在中者がおり、20名程度が広場空間の什器を使って過ごした。
- ・キッチンカーを配置しない休日でも20人程度が滞在しており、コンテンツがなくても都市内の滞在場所として機能した。
- ・平日でも、家族連れや友達グループの利用が20～35人程度見られ、オフィス街の中の昼食スポットに留まらず、まちなかの様々な人々が憩う場所となった。
- ・休日でも、飲食をする人が10名弱と、どこかから買ってきて食べる場所としても成立した。



3. ビジターアンケート

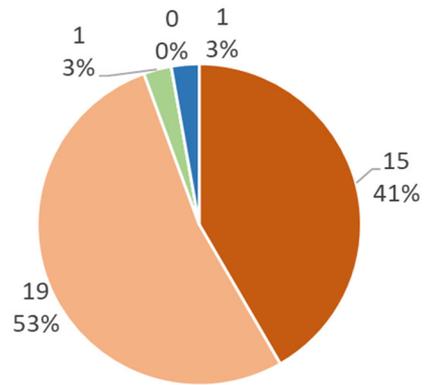
- ・来街頻度への影響について、「増える」「やや増える」とした人は5割弱、「滞在時間や立ち寄り箇所が増える」とした人は3割強と、まちなか回遊へ貢献する取り組みであると言える。
- ・にぎわい形成への効果は「賑わっていた」「まあまあ賑わっていた」が6割を超え、「それほど賑わってなかった」「賑わってなかった」の1割強を大幅に上回り、賑わい形成に大きく貢献した。
- ・9割以上の人々が、「居心地が良いと感じる」「まあまあ居心地が良いと感じる」と回答した。

○にぎわい形成への効果



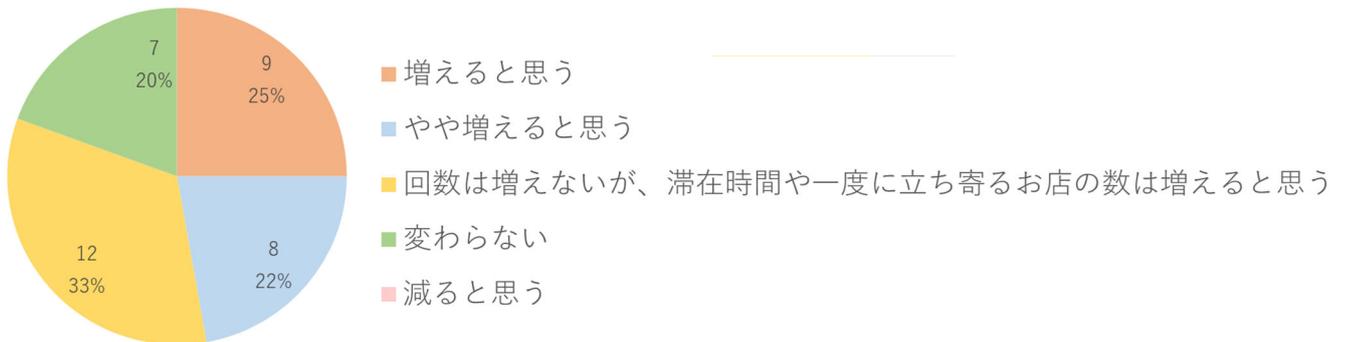
- 賑わっていた
- まあまあ賑わっていた
- 変わらない
- それほど賑わっていなかった
- 賑わっていなかった

○居心地の良さ



- 居心地が良いと感じる
- まあまあ居心地が良いと感じる
- 変わらない
- それほど居心地が良いと感じない
- 居心地が良いと感じない

○来街頻度への影響



- 増えると思う
- やや増えると思う
- 回数が増えないが、滞在時間や一度に立ち寄りお店の数は増えると思う
- 変わらない
- 減ると思う

4. 今後の課題

| 項目 | 内容 |
|-------|--|
| 管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続には運営側の収支がバランスすること、官民連携による体制を構築すること、出店者も含めた運営への関わりが必要である。そのためには、継続的に取り組みを実施し、地域に定着させるとともに、より多くの店舗の出店を促進し、多くの飲食メニューを提供すること、飲食以外のコンテンツ導入に向けた働きかけが求められる。 ・ゴミの回収は各出店者が実施したものの、持ち込みによる利用者のゴミも見られた。また、毎朝鳥の糞を掃除する必要があった。これらの状況から、毎日開始前や終了後に清掃が必要である。 |
| 空間づくり | <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内のコンセントを使用することが不可能であり、各店舗が発電機を持参した。これにより、発電機の音や排気ガスが空間内に広がることとなり、居心地を阻害する要因になった。出店者からは有料でも電源があればよいとの意見もあり、広場内における電源提供に向けた検討が必要となる。 ・市役所東側広場には雨避けとなる構造物はなく、隣接するキャノピーの下は使用不可能であるため、雨天時には購入したものを食べる場所がない。キャノピー下の利用や四阿等の雨避けになる構造物の設置に向けた検討が必要となる。 ・バス待ちの利用者が多いため、バス待ち滞在空間としての高質化が求められる。 ・市民プラザは高木により居心地の良い日影空間であるが、鳥の糞の臭いがきつく、滞在者が全く見られなかった。毎日水洗いによる清掃を行っているものの、根本的な解決に向けた鳥害対策や中低木への植え替えの検討が必要である。 |